

植物由来樹脂を用いた炭素繊維プリプレグ「BiOpreg # 400 シリーズ」を開発

三菱ケミカルグループ^{※1}（以下「当社グループ」）は、植物由来の樹脂を用いた炭素繊維プリプレグを開発したことをお知らせします。炭素繊維プリプレグだけでなくガラス繊維プリプレグもラインナップに加え、「BiOpreg # 400 シリーズ」としてサンプルワークを開始します。

炭素繊維プリプレグは、炭素繊維に樹脂を含浸させたシート状の中間材です。速硬化性、耐熱性、高靱性等の特長を持つことから、スポーツ、モビリティ用途を中心に採用されています。「BiOpreg # 400 シリーズ」は当社グループ独自の材料設計技術により、含浸させるエポキシ樹脂を植物由来品に置き替えることで、最大で約25%のバイオマス度^{※2}を実現しました。従来のプリプレグと同様の性能を有しているため、従来同様の取り扱いや成形加工が可能です。まずはスポーツ・レジャー用途から展開し、自動車の内外装材などモビリティ用途や産業用途への採用をめざしていきます。また、ガラス繊維プリプレグもラインナップに加え、多様なニーズに応えていきます。

モビリティ分野では、環境規制等を背景に製品のライフサイクル全体における環境負荷の低減が求められています。「BiOpreg # 400 シリーズ」は車体を軽量化することで、自動車のライフサイクルにおける省資源化や温室効果ガスの低減に貢献できる素材です。当社グループは、革新的なソリューションを提供するスペシャリティマテリアルカンパニーとして、高付加価値な製品を提供するとともに、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。



※1 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

※2 製品に使用しているマトリックス樹脂におけるバイオマス度（当社調べ）

以上

お問合せ先
三菱ケミカルグループ株式会社
コーポレートコミュニケーション本部
メディアリレーション部 TEL : 03-6748-7140